

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書②

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	岐阜本巣特別支援学校高等部 知的1年生2グループ （15名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・初めて触れるボッチャのルールを知り、興味をもって活動に参加することができる。 ・仲間と共に協力し、ゲームを楽しむことができる。
5 取組内容	・ボッチャに触れるというところから始めた。初めからゲームということではなく、まずは的当ての感覚で目標とするところに近づけることを目標とした。 ・段々と目標に近づけるという意識が芽生えたところでゲームを始めた。まず、導入としてY o u T u b eで実際のボッチャの試合を参考にした。 ・試合も全体で4チームに分けて行った。審判は教員が行い、すべてのボールを投げ終えた後全員でボールの位置をみて、勝敗を確認した。
6 主な成果	・始めはルールもわからないまま行っただが、繰り返すうちにルールを理解することができた。 ・目標やジャックボールに近づけることができたときには「やった」と喜んだり、近づけるためにはどのように投げたらいいのかと考えたりしながら取り組む生徒も出てくるようになった。 ・何より、生徒たちがみんなで行うという意識が芽生え、楽しむ姿が多く見られた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	生徒たちの今までの経験上、ボールで目標を倒したり、強く投げたりする経験はあるが、目標に近づけるということはあまり経験していない。よって、通常のルールだとジャックボールにボーリングのようにぶつけてしまい、ゲームが成り立たなかった。そこで、段階を刻み、まずは大きな的に乗せるところからスタートし、徐々に的を小さくしていき、最後にはジャックボールのみを目標とした。
8主な課題等	授業を進めるにあたって、教員自身も経験不足であったため、より一層の教材研究を行っていく。
9来年度以降の実施予定	道具が揃うのであれば実施していきたい。